

景観特性の把握と課題の整理

1. 地区の景観特性の把握

芦屋川は、芦屋を代表する美しい河川であり、沿岸には屋敷街の面影が残る落ち着いた風格のある景観をつくっている。また、市の中心となっている公共施設も集まり、市民にも親しまれている。ここでは、芦屋川の景観について、景観構造を把握し、全体的な景観特性、歴史資源等や緑の景観資源の分布状況、現地調査を踏まえた建物の外構、眺望・スカイライン、色彩等のまち並みの特性から分析する。

(1) 景観構造

1) 自然景観を結びつける自然的な軸

芦屋川は、大阪湾海浜部、芦屋の市街地、山麓の市街地と六甲の山々とに分けられる芦屋市を南北に貫く軸である。

南北の山と海の自然景観は、芦屋市全体の景観を構造的に決定づけており、眺望の対象としても重要な芦屋の原風景である。芦屋川は、沿岸に連続する並木の景観とも相まって、市街地を南北に貫きながら、これら山と海の自然景観を結びつける自然的な軸となっている。

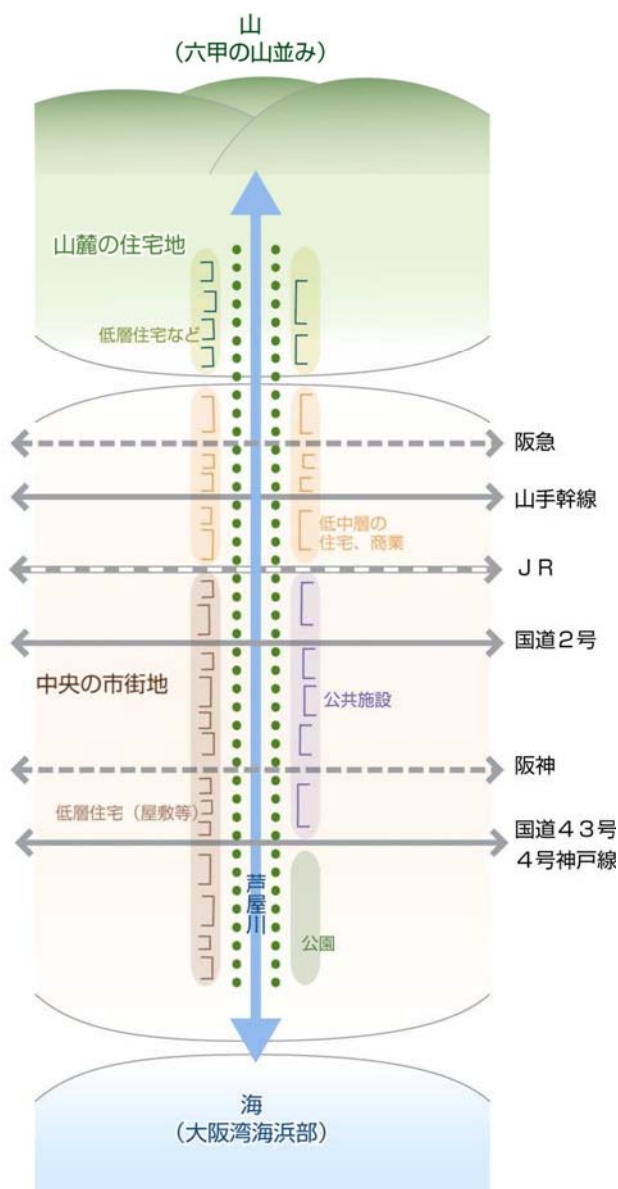
2) 東西に都市的な軸が交差

市街地では鉄道や幹線道路などが都市的な軸として東西方向の骨格を形成しており、自然的な軸である芦屋川と交差し、その交差部では橋梁や高架など施設が都市的な表情をつくっている。

3) 沿岸景観のまとめ

沿岸の住宅地は、立地する場所によって規模、用途が異なり、表情の違いがある。芦屋川南部右岸の低層住宅が主体の地区、左岸の公共施設が主体の地区、JR以北の低中層の住宅と商業からなる地区、山側の住宅地がまとめとして捉えられる。

図 芦屋川沿岸地区の景観構造



(2) 芦屋川沿岸のまち並みの特性

1) 敷地の外構の構成

芦屋川沿岸は大規模な敷地の屋敷街として形成されてきたこともあり、接道部の塀や生垣、また高木等の植栽等により建物が隠されることが多く、外構の作りが道路側からよく見られ、景観に対する影響が大きいと考えられる。特に石積みの塀やよく手入れされた生垣、高木の植栽、古くからの門構えなどは、芦屋川沿岸の落ち着いたある景観をつくる一因となっている。一方、近年屋敷跡に新しく建て替えられた建物や、商業等の用途が混在している地区の建物については、外構部への植栽等が可能なゆとり空間が少ない例も見られることも課題である。

ここではまち並みの現況調査から、外構の構成要素についての分析を行う。

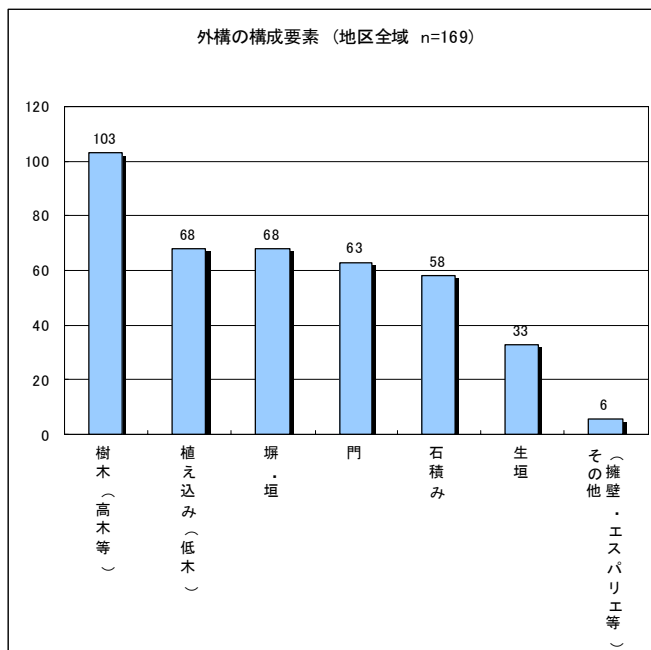
①全域

地区内全域を見ると、沿岸の調査物件のほぼ6割が敷地内に高木による植栽をしており、調査物件の4割は低木による植え込みを設けていることから、概ね緑豊かな外観を形成しているといえる。また、塀・垣、門、御影石による石積みなども4割程度に用いられており、特徴的な構成要素であると言える。



敷地内の高木や石塀の例

表 外構の構成要素 (地区全体)



屋敷の門と木塀の例



玉石積みによる擁壁の例

②地区毎の特徴

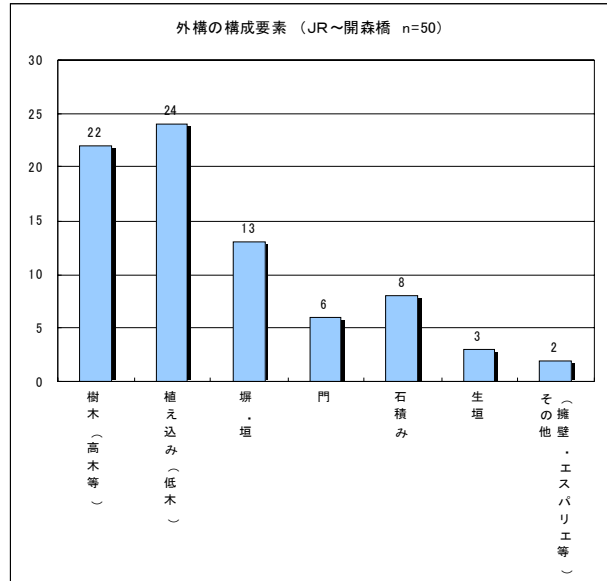
I. JRから開森橋

大規模なマンションや小規模な商店等，規模，用途共に混在している地区であり，近年建てられた店舗やマンション等では，水辺に向けて植栽を施したり，レストラン等を配置して水辺を生かす工夫をしているものも見られる。高木や植え込みの植栽が多く，一部住宅では塀や門による外構の構成となっているが，数は少ない。



JRから開森橋

表 外構の構成要素（複合市街地地区）



低層部に水辺に面したレストランを配置，玉石の石垣の上に建ち，壁面後退部に植栽を施しているマンション



大きな敷地のマンションでは，石積みと高木，植え込みによる緑化が多い



石積みと生垣，高木による緑化がされているマンション



屋敷跡を思わせる石積みの擁壁が一部に残る



小規模なマンションも，接道部のわずかなスペースに植栽を施し，表情を演出している

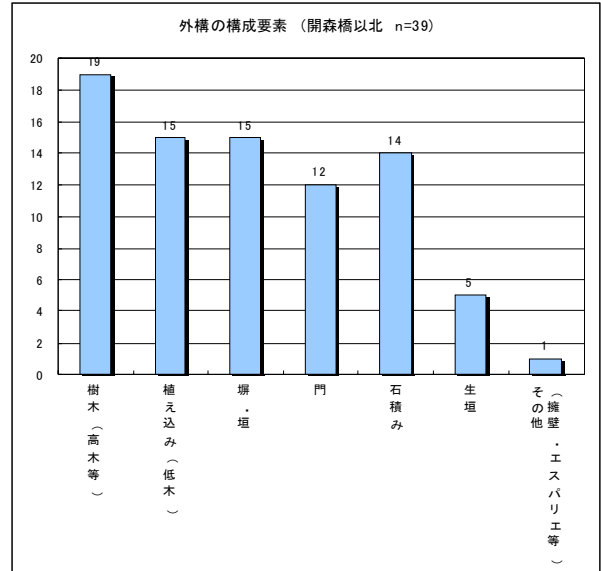


接道部に全くスペースを取れない小さな商店では，壁面にプランターを飾るなどの工夫が見られる

II. 開森橋以北

山側の斜面地に形成された、御影石による石積みの外構や塀、門、植え込みや植栽などが残る住宅地である。左岸では斜面地マンションでは、屋上緑化や外構部の緑化も見られる。

表 外構の構成要素（複合市街地地区）



屋敷跡を思わせる塀と、塀前面に石積み、植栽が施されている



きめ細やかなデザインのと風の門と、石積みの擁壁、塀越しの松がまち並みに風格をもたらしている



斜面であるために擁壁が多く、御影石が多用されている



集合住宅では敷地前面への植栽で緑豊かな外構を形成している



新たな戸建て住宅でも、塀越しに高木等による演出がみられる



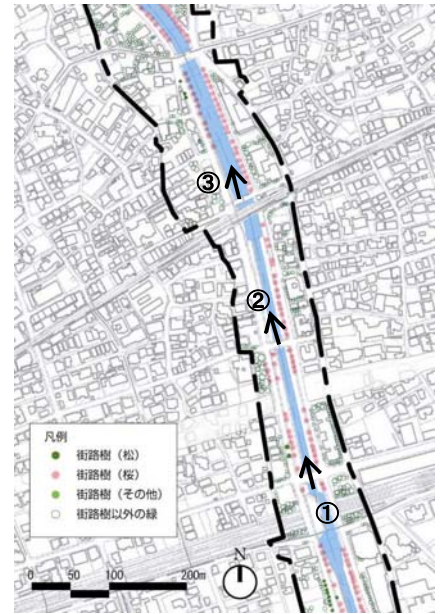
斜面地マンションでは、前面の桜並木や屋上緑化等がみられる

2) 眺望・スカイライン

芦屋川から山や海への眺めは芦屋を代表する景観である。ここでは、主な橋からの眺望と、周辺建物のスカイライン、松や桜並木等がつくるビスタ景について検討する。

① JRから開森橋

この地区は大規模、小規模のマンション、商業施設等が混在しているために、5階建て程度のマンションやオフィスビルが、周囲の小規模な建物や並木と比較して高いスカイラインを形成している。桜並木が海、山に向けてビスタ景をつくっている。



①大正橋から上流を望む



②月若橋から上流を望む

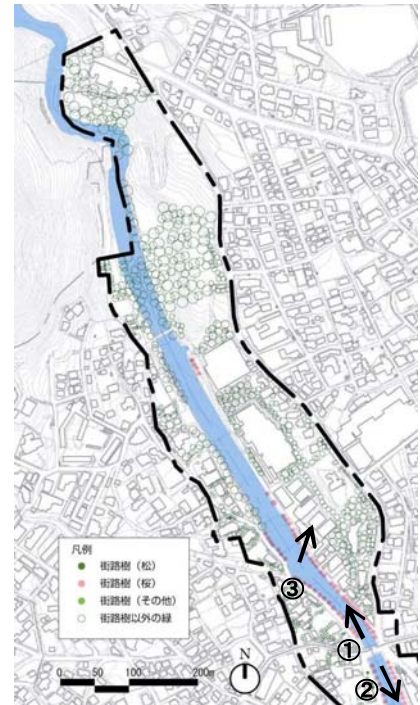


③桜橋から上流を望む



②開森橋以北

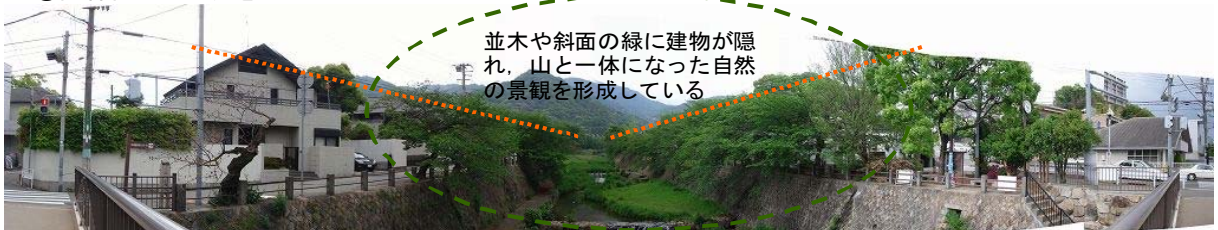
開森橋から上流の沿岸は、戸建て住宅、集合住宅からなる。山側は斜面地マンション等も立地しているが、橋から眺めてもそれらは緑に隠れて見えてこない。他の住宅も並木や緑に隠れ、六甲の山の自然と一体化した景観となっている。



①開森橋から下流を望む



②開森橋から上流を望む



③大僧橋からの眺め（参考）

